

第4次田辺市地域福祉計画の策定に係る福祉専門職への調査方法の変更について

1 当初の予定と調査方法変更の経緯について

- ・当初、福祉専門職への懇談会又は個別ヒアリングを実施する予定としており、4月頃の新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて判断することとしていた。
- ・4月23日に大阪府、兵庫県に緊急事態宣言が発出された。また、同時期に田辺保健所管内でも感染の報告が増えつつあった。
- ・市の対応として、当面の間、外部委員参加の会議等を中止することとなった。(現在は基準が緩和されており、外部委員が参加する会議の開催も可能となっている。)

以上のことから、懇談会の開催は困難であり、また、ヒアリングも福祉施設職員と対面で行うことから、感染リスクを考慮すると適当ではないと判断した。

2 代替案について

(1) 福祉専門職へのアンケート

- 対象者：市内183カ所の団体、施設等（社会福祉施設、デイサービス、保育所等）
に勤務している福祉専門職
- 実施期間：令和3年7月14日から令和3年7月30日まで
- 内容：本市における福祉課題（特に複合的な課題）を把握し、計画策定の参考とするために、福祉の現場で働いている方の意見を伺うもの。（送付した調査票等は別紙）

(2) 社会福祉士等による意見交換会

- 対象者：田辺市保健福祉部、各行政局及び田辺市社協の社会福祉士等
- 開催日：調整中
- 内容：上記のアンケートで使用した質問項目をベースとした議題について議論していただき、地域共生社会（重層的支援体制整備事業等）の具体化の方向性等について意見を出していただく。